

ISDA SIMM での IM 計算式の完全導出

2019年12月3日(火)より開講、全3回

OTC クオンツスクール

キーワード : ES (Expected Shortfall), VaR (Value at Risk), Standardized Approach (SA), Sensitivity Based Approach, ISDA SIMM, Risk Factors, Weighted Sensitivity, Bucket, Risk Class, Initial Margin

相対デリバティブの当初証拠金(IM)を計算するISDA SIMMのロジックのバージョン2.2が今年の12月から適用される。IM計算ロジックそのものは、2017年にバージョンが2に上がってから変わっておらず、リスクウエイトや相関といったパラメータが再カリブレーションにより見直されているぐらいである。

今回のIMの講義では、ISDA SIMMのロジックドキュメント(バージョン2.2)にあるすべての数式の理論的導出を行う。デリバティブ・トレーダーやリスク管理者はIM計算式を理解は業務上必須であり、XVAクオンツがMVAをモデル化するには、Day Oneである計算日のIM式の詳細の理解が必要である。

今回は、比較的新しい概念である集中リスクファクター(Concentration risk factor)とヒストリカル・ボラティリティー比率(Historical volatility ratio)についても触れる。また、通貨スワップの元本部分を除くISDAが推奨しているロジック、ホームカレンシーやIMの規制法規が異なるカウンターパーティ間のIMの計算等の詳細についても講義する。時間が許せば、ISDA SIMMが参考にしたとされるマーケットリスク規制資本(FRTB)の標準的方式(SA)で採用されている感応度ベース方式(SBA)とも比較したい。

セミナー対象者

- ・ 金融機関でマーケット部署やリスク管理部署の方
- ・ 金融機関のデリバティブ、ALM、リスク管理等の関係部署の方
- ・ 監査法人でデリバティブ業務等の監査に携わる方、リスク管理に携わる方
- ・ 金融リスク関係のシステム構築に携わる方

講義日程

第1回	第2回	第2回
12/3 (火)	12/9 (月)	12/16 (月)

時間： 18:00 – 21:00

会場： JA ビル カンファレンス 401B

定員： 25 名（申し込み人数が定員になった時点で締め切らせていただきます）

担当講師

高田勝己（株式会社 Diva Analytics 代表取締役）

平成元年、一橋大学経済学部卒業。日本債券信用銀行 資金証券部、さくら銀行 商品開発部、コムルツ証券会社 債券部トレーディングデスク で金利、為替レート、株式、クレジットのクオンツを務める。ペアースターズ・ジャパン 債券部 で金利・為替エキゾチック・トレーダー、RBC(Royal Bank of Canada) キャピタルマーケット・ジャパン デリバティブ・トレーディングデスクでヘッドトレーダーを経て、現在、株式会社 Diva Analytics にてデリバティブ、XVA や規制資本のモデルに関するシステム開発とコンサルティングに従事する。東京大学大学院経済学研究科で非常勤講師を務め、デリバティブモデルの C++でのプログラミングを担当。

シカゴ大学 MBA Analytic Finance 専攻。東京大学大学院 数理学科研究科 後期博士課程単位取得退学。

受講料

150,000円（消費税別）

学生割引：フルタイムの学生は50%の受講料で受講できます。

お申込み

OTC クオンツスクールのホームページ <http://www.divainvest.jp> から申し込んでください。

講義内容

第1回 SIMMの基礎

- ・ ISDA SIMM での IM 計算の大前提
- ・ VaR と ES
- ・ 変動証拠金と倒産エクスポージャー
- ・ 感応度ベース方式
- ・ デルタ・ガンマ法の詳細
- ・ 加重感応度足しあげの数学

第2回 SIMM IM 計算の詳細

- ・ Delta Margin
- ・ Vega Margin
- ・ Curvature Margin
- ・ Base Correlation Margin

- ・ 通貨スワップの元本部分の除外

- ・ 受け取る IM と差し出す IM の区別
- ・ ホームカレンシーの考慮
- ・ 異なる適用マージン規制のカウンターパーティとの IM
- ・ 差し出し有価証券のヘアーカット

第3回 SIMM のテクニカル部分の詳細

- ・ 集中リスク
- ・ ベガとガンマの関係
- ・ その他のテクニカル部分の詳細

(注) 講義内容は見直し等により変更になる場合があります。

